

令和6年度 第3回学校運営委協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和7年2月27日（木） 10時から 11時05分まで
2. 開催場所 飛松中学校 PTA 会議室
3. 出席委員 簗島 章、亀山 宣子、小山 知世、山崎 瑞恵、小林 由香、
藤本 宣子、堀 正人、柴原 功治、生方 公基
4. 欠席委員 なし
5. 学 校 中井 靖浩（校長）、西岡 洋和（教頭）
6. 傍 聴 者 なし
7. 会議録作成者 西岡 洋和（教頭）
8. 会議記録

会長あいさつ

校長あいさつ

出席率100%で嬉しいです。今年度最後ですがよろしくお願いいたします。

教頭より

議事録作成のため、写真・録音をご了承下さい。

熟議

- ・今年度学校経営の振り返り

校長より→内部評価について、教員・保護者に向けてそれぞれアンケートを行った。

4段階評価で平均を取り、過去三年間と比較している。保護者は良く、教員は厳しめの評価。過去より全体的に数値が上がっている。PTA（サポーター会）の項目は下がっている。全員参加ではない組織に変わったために、活動が下がった。今後は協力いただける方々との発展した組織となるようにしたい。今年度はサポ会やそれ以外の方を含めた懇話会を開催。これを機に入会した保護者もいる。

行事は良い評価。部活移行によって、体育会の部活動行進・文化祭の吹奏楽演奏の行事の内容が変わっていく。行事ごとの教員による実行委員会主導ではなく、今年の生徒会演技のような生徒たちが主体的に運営していく行事を試行錯誤しながら目指したい。

アンケートのご意見について、以前は PTA があり学校方針や保護者の意見も頻繁に伝わりやすかった。今後は色々な形で学校から発信しつつ理解を深めたい。応援意見に感謝、厳しい意見には工夫できることを検討したい。学校ルール改善については生徒会が全員の意見を取り入れた。

来年度からお茶とスポーツドリンクの自販機を 2 か所設置（大塚製薬）。他校ではごみルールの問題はあるが金銭トラブルはない。

委員→ 貴重品管理はどうなるのか？販売数は足りるのか？

校長→ 個人管理が原則。教室の戸締りはするが、財布回収は行わない。他校では売れなくて業者が撤退している現状も。

委員→ 体育館の市民開放の利用状況は？

教頭→ 平日の夜のみ開放。過去、音に敏感な方がいるため土日はクローズ。現在はバトミントンの活動が中心。バスケやバレーを NG にしているので他校より利用率が低い。今後は相談しながら OK にすれば利用率も上がるだろう。コベカツに向けて本校も対応していきたい。

R7 年学校経営方針について、グランドデザインは引き継いだ部分や変えていないものが（教訓・神戸市の教育ビジョン）ある。これからは先がわからない時代。自分で正しく判断して物事を考え行動ができる人間になるよう、「自主的にできること」を増やしていくよう教員と共に推し進めたい。

具体的方向性① 確かな学力・健やかな心と体の育成

探究的な学習が求められる。ICT 活用を重点的に実践するため「強化週間」を実施。机の上に端末を出す授業を強化。教科の特性により活用しづらい教科もある。この期間だけでも活用できれば。

具体的方向性② 命の尊重といじめを許さない指導の徹底

学びやすいユニバーサルデザインを広める。生徒の繋がりを深めるため教育委員会の事業に参加予定。既に「育てる教育相談」というプログラムを教員と生徒は進めていた。今回はさらに上を目指して大学教授からソーシャルスキルトレーニングを学び、不登校・いじめの未然防止に努めたい。

具体的方向性③ 教職員の資質向上と学校の魅力を高める取組

教育委員会より、教員が研修を受けることにより業務に生成 AI が利用可能となった。最終判断は作成者だが、色々な形で教員に OJT を行っていきたい。

具体的方向性④ 家庭、地域、関係機関との連携

保護者の不安を皆で話し合う機会を持つ。先日の不登校保護者の会で、卒業生の保護者からの体験談など盛り上がった。保護者同士の繋がりを目指したい。

来年度以降大きな変更は、部活動の地域移行（コベカツ）。新 1 年生は 2 年の夏で終わりとなる。その後は放課後の生活を考える必要がある。1 次募集では 600 団体が応募。バスケット・バレーは、学校数を越えている。先行開始のダンスが人気。主体的に向かう生徒は良いが、そうでない生徒が心配。そのため鷹取中・太田中・本校の 3 校長で話し合い、現行の枠組みを連携しスムーズにコベカツへ引き継げるよう検討中。コベカツは政令指定都市で初の試み、かつ今後は全国的な動きへの参考としてニュース等で注目を集めている。

委員→ 地域移行後、学校体育館など施設の活用は？

校長→ 学校施設活用は前提にある。1 次募集团体は、施設の利用を優先的に希望できる。コベカツには一定のルールがある。（指導者は 3 人以上、研修あり。教員は届を出せば可能だが、その学校で指導はできない、など）

委員→ 生徒は一旦下校してから、コベカツに行くのか？

校長→ 一旦下校する。家庭の管理時間なので自転車登校が可能か検討中。

委員→ 現小 5～6 にとっては、色々とおかしい。私立進学を考える人もいる。

校長→ 入学説明会で保護者に聞くと、なくなるならはじめてから地域の活動に入る声もあった。吹奏楽は人数が多く、引き継ぐ指導者が早い段階で決まれば保護者も安心だが。

委員→ 近隣の高校に打診してみるのはいかがでしょうか？

校長→ 今後の選択肢として良いことだと思う。神戸市全体としては、地域にもよるのかなと。

委員→ コベカツで学校備品は使えるのか？

校長→ 貸し出す方向ではあるが、修理やメンテナンス費用はどこから捻出するのかまだ定かではない。

委員→ 子どもたちへの受け入れ先や団体情報の提示はあるのか？

校長→ 現在わかっているのは団体数のみ。具体的なことは市議会で検討の真っ只中。本校吹奏楽部で1人の指導者希望がいる。3人登録のルールがあるため、どなたかご協力いただければと思う。

委員→ 問い合わせはどこに？

校長→ 基本的には教育委員会コベカツ担当へ。学校でも手続きなどの説明は可能。

委員→ 教員による中体連はなくなるのか？

校長→ なくなる。今後、公式戦や大会は減る。各スポーツの協会が実施する中心になると思われる。今までボランティアで教員が引き受けていたが、その繋がりから今後依頼を受ける可能性も。運営費から報酬を受けるか、ボランティアか各々が選択するだろう。

委員→ 他校生が飛松中でのコベカツに入れるのか？

校長→ 可能。

委員→ バリバリやるのか、子どもと選択に迷う。

校長→ 技術アップか生涯スポーツなのかの指導方針は子供が選ぶしかない。場所が偏るだろう。

委員→ ニュースやインタビューを見るにつけ、これから対象になる子どもや保護者のために教育委員会がどこまで情報提供してくれるのかという思いがある。場所・費用・活動内容など定期的な早期の発信を要望する「働きかけ」をお願いしたい。

校長→ 校長会でも、学校が抱える課題・不安が徐々に出てきている。教育委員会としては確定したものしか発表できないと思われる。

委員→ 新中1だが3年時に継続できない可能性があると言選択が難しい。本人は部活に入りたいが保護者として何を勧めていいのか…下校からの活動はハードルが高い。

校長→ 今までは部活後の塾だったが、今後はニーズにより概念が変わるかも知れない。これからは部活や塾を自分で選んでいくことも「子どもの力」になる。

コベカツは複数在籍が可能。時間や季節・運動系と文化系など。今までは「1つに決めたことは最後までやる」と大人が言ってきた社会風習を、これからは変える必要もある。やりたい事を自分でやる時代。

委員→ 一番心配なのは費用。やりたいけどできない。保護者はたくさん関心を持ち、転換期に腹を決めないといけない。学校はコベカツの情報をサポ会や保護者会で発信してほしい。小学校でも行ってほしい。

校長→ 学校も出来るだけのことはするが、この評議会では課題に対して具体的に「何ができるのか」をみんなで考えていくことをお願いしたい。良い情報があればご連絡下さい。

委員→ サポート会としてこの課題に対してピンポイントの話し合いが必要では。情報共有・指導者の発掘・運営にあたっての対応など説明をお願いしたい。

教頭→ 何かあればご連絡下さい。

連絡事項

来年度運営協議会の立ち上げの際には、お声かけさせていただきます。現小6の校内2校の方にも入っていただきたいと思っています。